



# 近森病院からの ホットライン

命を救う。命をつなぐ。

CHIKAMORI 2021.4 Vol.206

近森病院

発行：近森病院地域医療連携センター



かかりつけ医の先生方へ

新年度のご挨拶を  
申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り  
厚く御礼申し上げます。

2021年度も  
どうぞよろしく  
お願いいたします。

地域医療連携  
センター  
センター長  
塚田 暁  
(消化器外科部長)



## 地域医療連携センター

“3つの主業務”をご紹介します。

### 1 前方連携

- 地域の先生方からのご紹介  
外来予約調整
- 緊急性の高い状態の  
患者さんについては  
救急外来と連携し  
迅速に対応

各科の診療体制強化や治療技術の高度化によって、当院専門外来への紹介患者さんの数は年々増加しております。地域の先生方、紹介いただく患者さんのニーズに迅速かつ柔軟に対応できるよう「紹介予約システム」の見直しを行い、地域の先生方が利用しやすいシステムになるように取り組んでいます。

また、広報誌・ホームページ・面談を通じた積極的な情報発信とともに、紹介患者さん一人ひとりの連携状況をタイムリーに把握し、地域連携のさらなる充実化を図っていききたいと思います。

【医事課 主任  
北川真也】



丁寧な受入れに  
尽力しています

### 2 後方連携

- 急性期の状態から回復した  
患者さんの退院支援
- 退院困難な患者さんの  
転院調整
- 患者さんや家族からの医療等に  
関する総合的な相談

昨年の退院支援件数は2300件程になりました。コロナ禍で訪問活動がままならず大変もどかしい一年となりましたが、変わらず多くのやりとりをさせていただき、これまでのつながりがありがたく実感しております。

今年度も  
14名のソーシャルワーカーで活動してまいります。患者さんご家族を支援しそれを具体化していく上で、「連携」は欠かすことができません。ケースを通じ本音でつながることができるよう励みます。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

【ソーシャルワーカー 部長 西本奈加】



連携が  
大切なんです

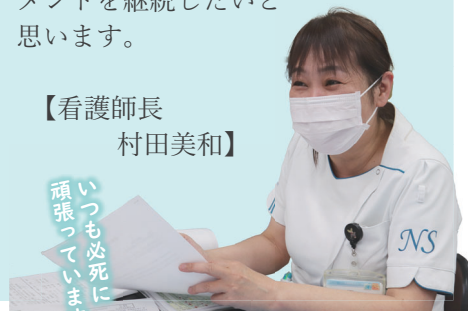
### 3 病床管理

- 救命救急センターとして  
常に患者さんの受け入れが  
できるような病床管理
- 主治医と緊密に連携し  
個々の患者さんに合った病床で  
治療できるよう調整

各病棟・ERと密な連携を行いつつ、日々の稼働状況を病院全体が迅速に把握できる環境づくりに尽力しています。

高度急性期機能を維持するためには、重症度、医療・看護必要度や在院日数を考慮しなければなりません。地域の先生方からの紹介患者さんはもちろん、当院での治療を必要とされる患者さんが必要な治療がすみやかに受けられるよう、救命救急センターとしての責務を果たせるベッドマネジメントを継続したいと思います。

【看護師長  
村田美和】



いつも必死に  
頑張っています

- 【緊急の紹介受診について】 ⇒ ER救命救急センターへ おつなぎします
- 【翌日以降の紹介予約について】 ⇒ 地域医療連携センターへ おつなぎします
- 【共同機器利用の予約について】 ⇒ 近森病院画像診断部へ おつなぎします

※混雑状況によりお待たせする場合がございます。何卒ご了承ください。



088  
822-5231(代)